

<学習指導部会 授業研究チーム>

【児童生徒の実態】

・友達と協力して学習に取り組む姿が多く見られる。聴き合うことで自分の考えを深めていく点において課題がある。

【部会のねらい】

・「聴く力」の育成を目指す授業を行うことで、子ども達の学びの広がりや深まりにつなげることができる。

視点	<A> 教育課程の工夫改善	 教育活動の連続性の確保	<C> 教職員間の連続・協働	<D> 家庭・地域との連携・協力
----	------------------	--------------------	-------------------	---------------------

取組	・各学校において、「聴く」に注目した授業実践を1人1つ行い、板書と振り返りのデータを共有する。 ・授業研究チームの部員は、他校の公開授業を1つ参観する。 ・乗り入れ授業を実施する。
成果	・1人1授業の成果と課題を各校で行い、3校の振り返りを共有する。 ・教師が聴くことを意識した授業を行ったことにより、子ども達の授業の姿から、もっと知りたい、他の人の意見も聴きたいという意欲が感じられた。 ・話合いが活発になるにつれて、根拠を述べられるようになるなど、話す側の向上も見られた。 ・音楽、理科、体育の乗り入れ授業を実施することができた。
課題	・聴く力の向上にはルールや目的の確認の他に、振り返りシートの活用なども検討していく必要がある。 ・学びの広がりや深まりにつなげるためには、話を聴くで終わらずに、そこから話題が広がっていくような質問をする力を高める必要がある。 ・中学校の1人1授業では、「伝え合う」という視点(学校課題)での授業であり、「聴く力」の育成というテーマとのずれがあった。学校課題と小中一貫のテーマをリンクさせていく必要がある。

音楽 乗り入れ授業



理科 乗り入れ授業



S&U 授業参観

